

平成30年度 第13回

日南市教育委員会

会議録

平成31年2月19日(火) 午後3時から
日南市役所・別館2階会議室

1 会議の名称 平成 30 年度教育委員会 第 13 回会議（定例）

2 会議日時 平成 31 年 2 月 19 日(火)
午後 3 時から午後 4 時まで

3 出欠確認

(1) 出席委員 黒木康英 迫元茂保 郷谷純一
崎村洋子 坂元由香

(2) 事務局 教育部長兼学校教育課長
生涯学習課長
学校教育課学校教育担当監
学校教育課長補佐兼管理係長
学校教育課管理係主査

4 場所 日南市役所・別館 2 階会議室

5 傍聴者 3 名

6 開会

【黒木教育長】

「それでは、ただいまから平成 30 年度第 13 回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」

7 出席者及び傍聴者確認

【黒木教育長】

「出席者の確認をいたします。教育委員 5 名全員出席でございます。それでは事務局の方出席者の確認をお願いします。」

【倉元部長】

「事務局は、全員出席です。」

【黒木教育長】

「本日は傍聴、ありがとうございます。」

8 活動報告

(1) 教育長活動報告

【黒木教育長】 ※ 資料により、活動内容を報告

それでは、1月23日から本日までの教育長の活動で、主だったものを報告させていただきます。

・まず、1月24日、恒例の「新春子どもの声を聴く会」が開催されました。年々レベルは高くなっていると思うのですが、特に今年は、小中学生とも、声の張り、表情等発表態度が堂々としていたように感じました。小学生部門では、最優秀賞を一人に絞りきれず、桜ヶ丘小学校の安藤さんと細田小の楠原さんの2名が受賞しました。中学生部門は、これも僅差ではありましたが細田中の安楽さんが受賞しました。

・1月26日の市PTA研究大会では、性同一性障害まりあの会理事長石川直子さんの講演を聴くことができました。2度目でしたが、性同一性障害の子どもをもった親としての切実な悩みや葛藤等あらためて聞く機会に接し学校で対応のヒントになりました。

・2月4日、南那珂育英会理事会が開催されました。議事について説明します。議案第1号は、平成31年度事業計画・収支予算・資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認についてでした。議案第2号は、評議員の辞任に伴う補欠選任についてでした。いずれの議案も提案通り承認いただきました。なお、本育英会の新規奨学生は、日南市が2名、串間市が1名の計3名です。

またこの日、学校改善プロジェクト会議を持ちました。主な内容は、中学校の部活動方針、キューブの「行動観察評価シート」活用、31年度日南市教育基本方針の進捗について、人事異動に関する周知等留意事項について、更には、次年度の主な行事計画等、6日の校長会で示す内容について協議したところです。

・2月8日は、県教育研修センターで教育研究機関研究発表大会が開催されました。今年度から、それぞれの研究所は発表が義務づけられず、研究所単位の主体的な発表形式となりました。本市では、新学習指導要領の完全実施に向けて、「育成すべき資質能力を確実に育む授業の創造」をテーマに発表しました。『何を学ぶのか』を明確にするために提案した、学習ロードマップに質問が集中していました。

・2月15日の宮崎大学医学部看護学科との協議は、次年度計画している性教育の内容について教育委員会の考えを説明しました。この取組については、宮崎大学と宮崎県立看護大学の協力をいただきながら推進していきたいと考えております。

・2月17日は、生涯学習推進大会合同閉校式が開催され、全38講座536名が修了されました。

・2月18日は、定例記者会見が開かれ、3月定例議会の日程と30年度補正予算、31年度の事業等、説明がありました。また、午後から宮崎市で県教育委員会各課から、31年度事業説明がありました。

・そして本日です。今日は、この後19時から、今年度2回目の健康にちなん21推進会議が開催されます。教育委員会の重要施策の一つである肥満予防と虫歯予防の取組について説明したいと思います。

以上で報告を終わります。

9 前回の議事録承認

第11回の議事録について了承

10 議題について

協議1 本年度の反省と次年度の計画について

(和田補佐) (黒木教育長) (郷谷委員)	本年度の反省と次年度の計画について説明。 ご意見をお願いします。 年間計画に基づいて色々な研修や学校訪問、その他ありましたが、教育委員として、自分自身の資質を高める内容もたくさんありましたので、色々勉強をさせていただいたなと思います。学校訪問に何回か行かせていただきましたが、教育長がよく言われていたのに、学校経営案を作成する時の、表現や文字の使い方とか日南市の教育基本方針にのっとった形でまとめて、言葉使いがページで違うということがあったので、それを統一したらどうかということもありました。それぞれ学校は校風や伝統が各地域にあると思いますが、資料の作成については、その学校の独自性があるにしても、基本的なことについては、教育長がおっしゃったような形で、各学校この学校経営案を作成された方がいいのではないかと私も思いました。そのことについては、次年度そのような形で作成してもらえるといいと思いました。 外部研修については先ほど申しましたように、私たちの希望を聞いて計画していただいて、ありがたく感謝しております。 それから、教育長から来年度の運動会の時期を暑い時期から10月に日程変更をしたと言われましたので、子どもたちの健康管理のためにもいいと思いました。
--------------------------------------	---

(黒木教育長)

学校経営案のことについては、あれから校長会のたびにしつこく言ってきました。日南市の経営方針と学校の経営方針に整合がないといけないと言ってきました。日南市の基本方針をよく読むように言って、外部評価をしていただく際は、それに合った取組がどう評価されたかわかるような評価であってほしいと学校にもお願いしたところです。

甚だしいのは、数年前の物がそのまま残っている学校が何箇所かあったりしたので、そういうことがあってはいけないと厳しく指導しました。

何のために経営案を作るのかをしっかりと考えてほしい。見ない経営案なら作らないほうが良いということです。今年度のうちから次年度に備えた改正に取り組んでいただいていますので、次年度はずいぶん改善されると思います。

次年度の運動会の変更ですが、言われたとおり子どもの健康、参観に来られる保護者のみなさんの健康状態に配慮したら9月実施は厳しいという判断をしました。基準日を設けました。次年度は中学校が10月6日、小学校が10月27日というふうに基準日を設けました。それに伴い、小学校の水泳大会と陸上大会がなくなるので、各学校で記録をとる形になります。行事が多いので、なかなかずらせないし、水泳大会はプールの熱がこもり、見に来られる方も大変ということもあって、見直す機会にきているということで、小学校の校長会で検討してもらって中止を決定し、すべての保護者にも校長会長から流したところです。

ほかに、何かありませんか。

(崎村委員)

研修に行かせてもらって、PTAとのふれあいコミュニケーションでは、保護者の方の生の声が聞けたので良かったです。

串間市であった市町村教育委員と県教育委員との意見交換会等も、今までとは違ったやり方をされたので、とても勉強になりました。

宮崎市教育委員会への視察研修も、防災に関してすごく力を入れておられるのがわかって、日南市も防災に関して学ぶところがあったのではないかと思います。

くろしお支援学校との交流参観がインフルエンザで中止になったのは残念だったと思いますので、時期を検討したほうが良いのかなと思いました。

(黒木教育長)

他の機関との情報交換は、私たちが知見を広めるためには大切な

	ことだと思しますので、次年度につきましても、是非、学習・研修してみたい内容があったら、積極的に意見を出してもらいたいと思います。 また、東郷中学校とくろしお支援学校の交流は、きんかん収穫がメインになっていますので、どうしてもこの時期になってしまいますので、また考えたいと思います。
(迫元委員)	私たち教育委員が日南市の色々な教育に触れる機会や状況を知ることが年間計画の中にちりばめられていて、非常に視野を広げることができたと思います。 特に出かける教育委員会では、色々な分野の所に出かけられたことは、いいことだなと思いました。 市町村教育委員と県教育委員との意見交換会が串間市でありましたが、従来日南市と串間市がしていたものを兼ねてあったのではないかと思います、次年度もそのようになるのか分かれば教えていただきたいと思います。 全体的には、非常に充実した教育委員会・研修会だったと思います。
(黒木教育長)	いつも日南市と串間市の2市だけで情報交換会をしていましたが、ここに今年、県教委が入ったのはなぜでしたか。
(土持担当監)	次の県の教育振興基本計画を策定するにあたっての聞き取りを、県教委が出かけて行って、生で南那珂地区の教育委員と意見を交換したいというのが趣旨でしたので、今年は特別でした。
(黒木教育長)	来年度は、これはない可能性が高いということですね。
(迫元委員)	では、来年は元に戻る可能性が高いということですね。
(黒木教育長)	ほかに、何かありますか。
(坂元委員)	P T A協議会とのふれあいコミュニケーションを設けていただいて、保護者の立場からすると教育委員会がどういうものか分からないというのもあって、自分たちの声が届けられる場所があるんだと分かる機会になって良かったです。日頃役員会がありますが、各々抱えている問題を各学校のP T A会長が発表するという機会がなかったので、各学校が抱えている問題が分かって良かったという意見が出ていました。 子どもたちの様子が見られる寿太郎関係や処平塾、子ども議会など子どもが何を考えているのか、何を学びたいのか私たちの時代にはなかったことが今の子どもたちの生活の中であって、こういう発表の中に、こういったものを取り入れたらいいのではないかという

(黒木教育長)	ヒントがたくさん隠されているのではないかと感じました。 P T A協議会に参加して情報交換をしたことで、P T A理事会と教育委員会との距離がより近くなって、教育委員会の進める事業、協力を得る事業について、別府会長に相談をさせていただき、理事会で説明をさせていただいて、各学校に図るということがスムーズにできて、部活動の運営が来年度から変わりますが、これまでは日南市が独自に計画した方式で休養日を設定していましたが、次年度からは国と県の方針に沿った形で、日南市も部活動の休養日などを設けることになります。それについても、こちらから出向いて説明をさせていただいて、了解をしていただいたところです。そういうことが親しく情報交換ができるような関係になったと感じました。非常に良かったと思います。 日南市の教育委員会において、色々なことを進めることの強みというのは教育委員会だけではなくて、P T A協議会と校長会が一緒になって事を進めていけるという、3者が連携してやっていけるというのは心強いものです。それは、なかなか他市ではあまり情報としては聞こえてこないです。
(坂元委員)	日南市の教育方針がP T A協議会におりてくることで保護者にわかりやすく伝えられる、市が発信するだけでは保護者には聞きなれない言葉ですが、P T A協議会におりてくることで講演会の演題にしたり、一人一人に届く機会が増えるのではないかと思います。
(黒木教育長)	ちなみに、来年度の教育講演会は、性教育についてやりたいと考えています。今年度の反省については、以上のようなことが出ましたので、来年度に生かしたいのですが、来年度については、次の教育委員会で協議し、骨格を固めていきたいと思いますので、今年の反省を生かしてみなさんのご意見を伺いたいと思いますので、考えておいていただけるとありがたいと思います。

協議2 学校活性化について

(高妻補佐) (黒木教育長)	学校活性化について説明。 平成32年度までのデータが出ていますが、急激な減少は見られませんが、徐々に減少の傾向があるとうご理解ください。出生者数が400名に届かないという状況になっていますので、今後は厳しい数字が出て来るのではないかと思います。そういった中で細田地
------------------------------	--

	区がどの学校も規模が少なくなる傾向にあって、以前から一貫校やまた統合等について説明には伺っていますが、なかなか地域としての話が盛り上がり進まないのが現状です。 榎原地区については、併設方の小中一環が学校にとってはいいのではないかと思います。校長が1人になる分教諭が1人増えます。その分、十分な手当がでできると考えています。 私たちが試みているのは、細田地区に入って、色々と説明をしているということです。
(崎村委員)	大窪小学校は学校として難しいと思います。地域としてはわかっていらっしゃると思いますが、細田小学校や大堂津小学校は本当のところどう思っているのでしょうか。大窪小学校を見たときに、もう限界がきていると思います。 私が教育長に就任して、歴代の校長たちの話をずっと聞いてきて、ある意味限界はあると大窪小学校の校長は言われます。地域の人が学校を残したいという気持ちは、いつの時代も強いと思います。みなさん方がどこで決断されるかどうかということでなかなか話が進まないということです。
(坂元委員)	P T A側から各保護者に向けてアンケートというか、生徒数の減少、あともう一つあるのは、大堂津地区は津波の時の避難場所のことがあるので、中学校の方に学校を移す動きについてどうお考えですかというアンケートをとっても問題はないのでしょうか。
(黒木教育長)	P T A役員会で決まり、了解されたのを実施される分には何も問題はないと思います。
(坂元委員)	大堂津小、細田小、細田中、大窪小の会長さんが役員で、この取組について保護者がどう考えているかわからないと、地域の人の気持ちも大切だけど、大事なのは、学校に出す保護者や生徒の気持ちが大事なので、一度保護者に向けて一斉アンケートをとってみるのもいいと思います。P T A協議会の理事会で顔合わせもあるので、その時に声かけをして、教頭先生に協力していただいて文書を作って、決定ではないけれど、こんな選択肢がありますということ、色々通学のことなど問題は出てくるとは思います。どうですかという問いを投げかけた方がいいと思います。 自治会とかだったら、年代的に学校を残したい、地域を守りたいという気持ちがあると思います。
(崎村委員)	今学校に行っている子どもたちと、子育てをしている保護者が中

(坂元委員)	心にならないと話が進まないと思います。自治会になると思い入れがあると思うので、話が前へ進まないと思います。 実際、体育や昼休みに遊べることも人数で出来ることが限られているので、こういう現状を見たり聞いたりしていると話がまとまるのではないかと思います。
(倉元部長)	以前、学校教育課にいた時に、吉野方小と酒谷中学校のことがありましたが、どうしても学校がなくなると寂しいという声が強かったのですが、吉野方小は保護者が、社会性が培わない、成績の順番も入れ替わらない、競争心もわからない、可哀想ということで、まず保護者から声が出て地域の自治会長さんが受け止めて、地域全体で話し合いをされました。酒谷中も全く同じです。
(崎村委員)	自治会に毎年説明に行くのですが、特に細田地区、大窪地区は毎年自治会長さんが変わりますので、また説明に行きたいと思います。 私は吉野方小出身で、閉校式に行った時に、子どもたちが、閉校式にあたり一人一人言葉を言いましたが、自分たちの将来のために両親と地域の方々がこういう決断をしてくれたという言葉がとても印象に残っています。
(黒木教育長)	私が気になっていることは、大人との会話は上手くできるけど、同年代の子どもたちとは、うまく対応ができない。何かあってつまずいた時に上手く解決できない、ということが事例として聞くケースがありました。全国的にもこういう悩みを抱えた所は多いので、そういうところの話の中で話題になっていました。 地域の中で話題になって、子どもたちのためにどうしたらいいか、検討がうまく始まればいいのかなど思っているところです。是非、少しずつでも前に進めたいと思っています。

協議３ 予算（平成３１年度当初予算・３月補正予算）について

(倉元部長)	予算（平成３１年度当初予算・３月補正予算）について説明
(黒木教育長)	これについては、よろしいですか。

1 1 その他

(1) 3月行事予定について

第14回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 平成31年3月20日（水）、午後3時から
- ② 場所 南郷健康福祉センター

1 2 閉会